



## 屋内用・LED埋め込み灯

(天井埋め込み専用型・電源内臓型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

### 仕様

品番	適合ランプ	仕様電圧	周波数	消費電力	入力電流	
YDD-3303-L	ベース灯	LED29W×1灯(電球色)	AC100/200V(±6%)	50Hz/60Hz	29W	0.328/0.176A
	処置灯	LED29W×1灯(電球色)	AC100/200V(±6%)	50Hz/60Hz	29W	0.328/0.176A

※器具1台当たり(2回路)の最大接続台数(調光未接続時)は12台(100V入力時)23台(200V入力時)までです。

1回路当りの最大接続台数(調光未接続時)は25台(100V入力時)46台(200V入力時)までです。

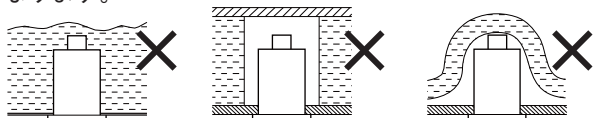
### この取扱説明書のマークについて

- ⚠ 警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ 注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗** このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫** このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

### 施工上の注意

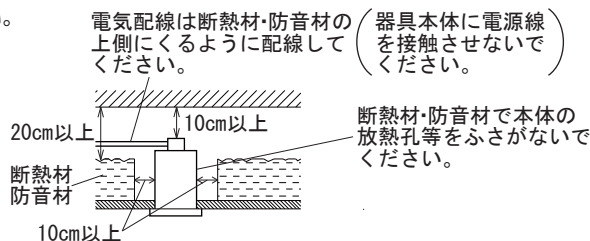
#### ⚠ 警告

- ❗** LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。  
★十分ご注意ください。
- ❗** 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。  
★施工に不備があると落下や火災、感電事故の原因となります。
- 🚫** 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気が多い場所では使用できません。  
★漏電・感電事故の原因となります。
- 🚫** 天井埋め込み専用器具です。天井以外の場所には施工しないでください。  
★指定以外の場所に取り付けると、異常加熱による熱損事故の原因となります。



ブローイング工法

マット敷き工法



- 🚫** ブローイング工法・マット敷き工法の天井には使用できません。  
★ブローイング工法・マット敷き工法の天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。
- ❗** 端子に差し込むケーブルの芯線は必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線のケーブルで真っ直ぐな線を正しく挿入してください。  
★指定以外のケーブルや曲がった芯線やよれた芯線は、接触不良となり接触抵抗の増加を招いて火災の原因となる場合があります。
- ❗** 器具の開口面と照射する物(被照射面)との距離は0.1m以上離して設置してください。  
★被照射物の変形や、焼損事故の原因となります。
- ❗** アース工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。  
★アースが不完全な場合は、感電の原因となります。
- 🚫** 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。  
★火災や感電事故の原因となります。

#### ⚠ 注意

- ❗** AC100/200V専用です。必ずAC100/200V(定格電圧±6%)の電源で使用してください。  
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。  
★定格電圧以外で使用した場合、器具寿命が短くなる場合があります。
- 🚫** 温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くには設置しないでください。  
★異常加熱による火災の原因となります。
- ❗** この器具は周囲温度5℃から35℃の中で使用してください。  
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- 🚫** 防虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。  
★変色や材料の変質によるカバー落下などの原因となります。

## 調光器適合表

### ⚠ 注意

- ⊘ 照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8~10年後には外見に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による) 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- ⊘ 点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。★火傷の原因となります。
- ⊘ ヒビの入ったカバーや欠けたカバーは使用しないでください。★カバーの破損、落下の原因となります。
- ⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- ❗ LED光源にはバラつきがある為、同一品名商品でも色・明るさが異なる場合がございます。予め御了承ください。
- ❗ 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予め御了承ください。
- ❗ 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予め御了承ください。
- ❗ 調光器を使用して電源操作を行なうと、一瞬明るくなる場合がありますが、故障等ではありません。

## 調光器適合表

調光器(ライトコントロール)と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。  
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

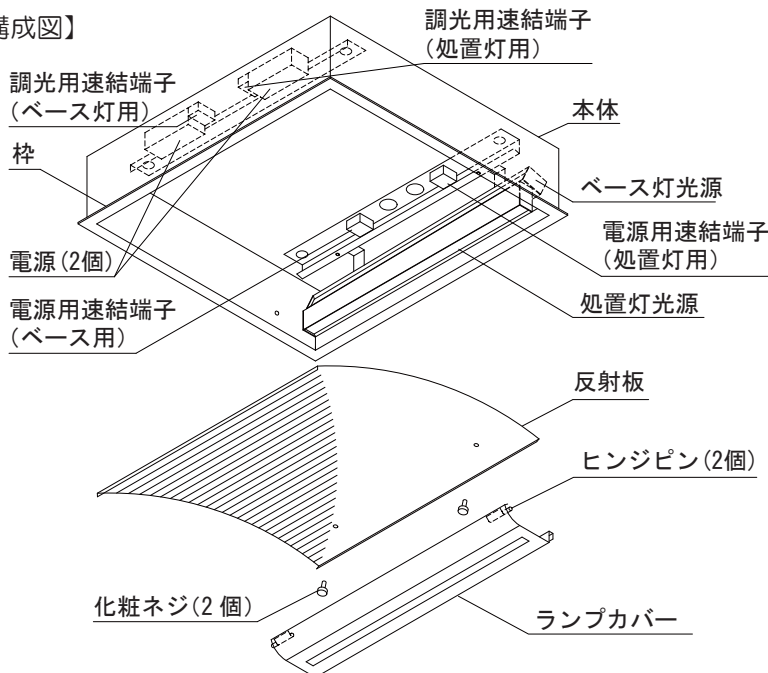
調光器	調光器品番	1回路当たりの接続数		インターフェース
		100V	200V	
ライトコントロール信号線式 (パナソニック製)	NQ20355・NQ20356	16台	※1	不要
	NQ21585Z・NQ21595Z NQ21582Z・NQ21592Z	25台(100V)/46台(200V)	※1	
グラフィックアイ 3000シリーズ (LUTRON社)	GRX-310*-T-JA--	26台(100V)/50台(200V)	※2	GRX-PWM ※3
グラフィックアイ QSシリーズ (LUTRON社)	QSGR-*PJA- ※4			

※1 調光器1台に対して ※2 インターフェイス1台に対して ※3 インターフェイスは1ゾーンに1台を必ず接続してください。 ※4 フェースプレート別売

## 各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)  
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業所までご連絡ください。)

### 【器具構成図】



### 【付属品】



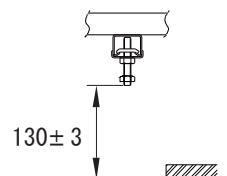
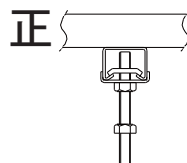
取扱説明書(本書)・・・1部

保証とアフターサービス  
について・・・・・・・・・・1部

## 取り付け場所の確認

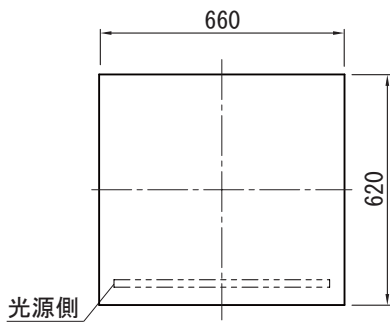
- ⚠ 警告 ⊘ 施工は、取扱説明書に従い確実に行ってください。  
★施工に不備があると落下や火災、感電事故の原因となります。
- ⊘ 天井埋め込み専用器具です。天井以外の場所には施工しないでください。  
★指定以外の場所に取り付けると、異常加熱による熱損事故の原因となります。

- 取付ボルトはレースウェイ等を使用し、必ず垂直に降ろしてください。
- 事前に取付ボルトの長さを調節してください。天井面からボルト先端まで 130±3mm です。

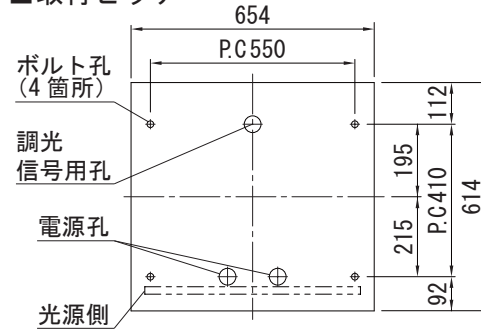


## 天井切込穴寸法と取付ピッチ

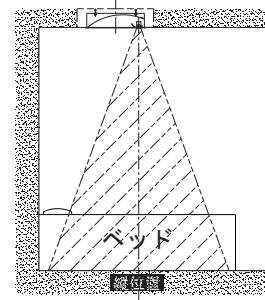
### ■天井切込穴寸法



### ■取付ピッチ



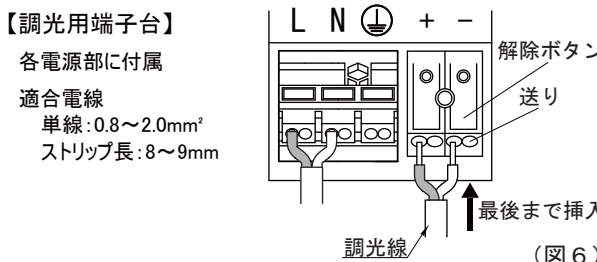
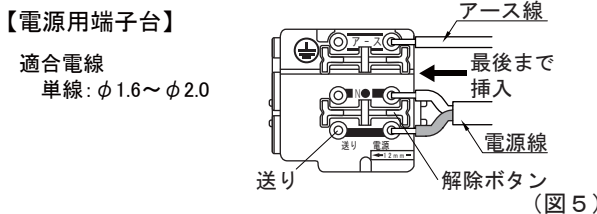
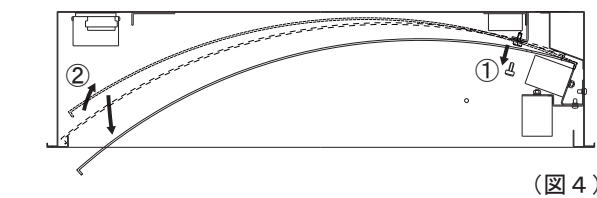
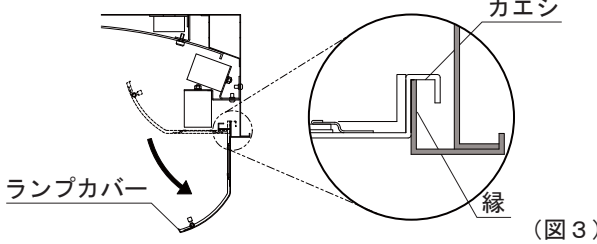
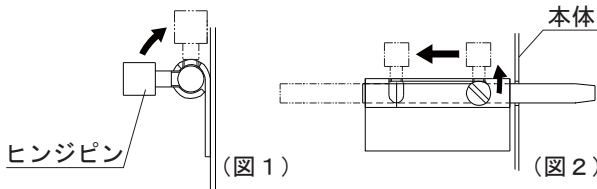
●この器具には方向性があります。取付ピッチを確認の上施工してください。



## 取り付け方 ⚠️注意 ⚠️必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

### ⚠️警告

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
- ★ 取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。
- 電源線用端子台に差し込む電源線は、必ずVVFφ1.6またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
- 調光線用端子台に差し込む信号線は、必ず0.8mm<sup>2</sup>~2.0mm<sup>2</sup>の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
- ★ 指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。



1. ランプカバーをはずします。
  - ①ランプカバーの裏側に手を差し入れてヒンジピンを起こします。(図1)
  - ②ヒンジピンを内側にスライドさせます。(図2)
  - ③ランプカバーのカエシを本体の縁からはずします。(図3)
2. 反射板をはずします。(図4)
  - ①化粧ネジ(2箇所)をはずします。
  - ②反射板を持ち上げてずらしながらはずします。
3. 本体を天井の切込穴にセットし、六角ナット(別途)で固定します。
  - ①電源線とアース線を電源孔より器具内に引き込みます。
  - ②天井に施工されているボルト(別途)を器具本体のボルト孔に合わせ入れます。
  - ③ワッシャー(別途)を通し六角ナット(別途)で固定します。

【注意】必ずワッシャー(別途)をはさんで固定してください。
4. 電源線・アース線・調光信号線を接続します。(図5・6)
 

※端子台はベース灯用・処置灯用のそれぞれ2つあります。

  - ①電源線をそれぞれの速結端子のストリップゲージに合わせて剥きます。
  - ②電源線をそれぞれの速結端子に差し込みます。
  - ③アース線を差し込み穴に差し込みます。
  - ④調光器と接続は、調光信号線を極性に注意してそれぞれの速結端子に接続してください。(ストリップ長8~9mm)

⚠️警告 ⚠️ この器具にはD種接地工事を行なってください。★アースが不完全な場合は火災や感電事故の原因となります。

5. 反射板をセットします。
 

「2.反射板をはずします。」の逆の手順でセットします。

  - ①反射板の孔のあいているほうを光源側にして、ベース灯光源の上に差し込みます。
  - ②反対側を持ち上げ本体の枠へ落とし込みます。
  - ③反射板の孔と本体の反射板取付金具の孔を合わせ化粧ネジ(2箇所)で取りつめます。
6. ランプカバーを閉じます。
 

「1.ランプカバーをはずします。」の逆の手順でセットします。

  - ①片手でランプカバーを持ち上げ、上から手を差し入れてヒンジピンを起こします。
  - ②ヒンジピンを本体の孔に合わせ外側へスライドさせます。
  - ③ヒンジピンを倒します。

## スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

## お手入れについて

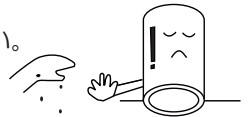
### ⚠注意

❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- 1年に1回はお手入れを行い異常が無い点検をしてください。  
また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼してください。  
★点検を行わずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・管でに至る恐れがあります。
- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。  
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

### ⚠注意

- ❗ ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。  
★感電事故の原因となります。
- ⊘ ●光源ユニットは乱暴に扱わないでください。  
★光源ユニットの故障の原因となります。
- シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。  
★器具にキズをつけたり、変色や変質の原因となります。  
★カバーの破損、落下の原因となります。
- ⊘ ●スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。  
絶対に素手で触らないでください。  
★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。  
★感電事故の原因となります。

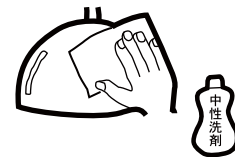


## ◆光源ユニットについて

- LED照明器具の光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)  
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

## ◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



## ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。